

会議録

会議の名称	令和7年度 第1回加西市総合政策審議会
開催日時	令和7年6月26日（木）午前10時00分～11時40分
開催場所	加西市役所 1階 多目的ホール
議長の氏名 （副会長 濱本 泰秀） 出席及び欠席委員の氏名 ＜出席委員＞ ・荒木 努 ・大野 聖佳 ・岡 信義 ・小川 仁郎 ・杉本 昇平 ・辻 さやか ・東根 光児 ・中野 重美 ・濱本 泰秀 ・樋口 真史 ・藤井 良子 ＜欠席委員＞ ・岡田 美香 ・谷勝 公代 ・和田 真理子	
傍聴者の人数 一般：なし 報道機関：なし	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・政策部長 高見 昭紀 ・政策部政策課長 柿本 尚一 ・政策部政策課 課長補佐 高橋 知弘 ・政策部政策課 係長 谷口 成俊 ・政策部政策課 主任 香川 理宇 ・政策部政策課 主事 別名 柁哉 ・政策部政策課 主事 三宅 里彩	
1 議事 (1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方 (2) 実施計画（令和6年度実績）における評価・検証について (3) 内部評価の概要 (4) 第6次加西市総合計画（後期基本計画）の策定状況について 2 報告 (1) 加西市地域創生戦略の取組状況について 3 会議資料 会議次第、資料1～7、参考資料一式、 第2期加西市行財政改革プラン（令和7年3月策定）、出席者名簿、配席図 4 会議の経過 ⇒別紙「第1回加西市総合政策審議会の経過」のとおり	

(別紙) 第1回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会 議 の 経 過 / 発 言 内 容
市長	開会 1 市長あいさつ 本日はご多用の中、また、天候の悪い中、第1回総合政策審議会にご出席いただき感謝申し上げます。委員の就任についても、ご協力賜り重ねて感謝申し上げます。市長就任から2年が過ぎたところであるが、人口減少・縮小の時代であり、各自治体が人口減少防止にしのぎを削っている状況である。そのような中で、まちの魅力を高めていかなければいけないと認識している。また、選ばれるまちにならないといけない。まちの魅力を考える際には、1つのことが優れていても、なかなか魅力にはつながらない。やはりすべての世代が輝くまち、そして、ものの豊かさだけでなく、心の豊かさが達成されることも必要である。また、ハードからソフトまで充実させていくことも必要だと考えている。現在、学校統合計画を策定し、それに基づいて統廃合を進めているところである。学校跡地利用も活性化に向けた非常に大きな要素であると考えている。 また、加西市には1万1千人の方が市外から勤めに来られており、非常に大きな潜在能力を持ったところだと思っている。何とか移住定住につなげられるように進めていきたい。そのためには、やはりまちの魅力を高めていく必要がある。今の時代は、投資なくしては発展もできないが、加西市の財政が破綻しては元も子もない。しっかりと財政状況を見据えながら進めていきたいと考えているので、ご理解とご協力を賜りたい。 今年度の総合政策審議会は、令和2年度に策定した10年計画の第6次総合計画が今年度末をもって前期が終了となり、来年度から後期の基本計画となる局面を迎えている。状況を見定めていただきながら計画を策定することが重要であることから、今後よりよくお願い申し上げます。 将来にわたって加西市が住みよいまちになるよう、委員の皆様の多方面にわたる知見・知識からご意見いただき、魅力ある加西市、発展する加西市に向けて、実り多き後期計画が策定できることを切に願い、挨拶とさせていただきます。 2 委員の紹介 ※昨年度に引き続き、会長を和田真理子委員、副会長を濱本泰秀委員とする。 3 第6次加西市総合計画（後期基本計画）の策定について（諮問） (市長諮問)
副会長	4 議事 (副会長挨拶) 私も市から様々な委員を引き受けているが、この審議会が一番大変な労力がかかる審議会だと思っている。資料の読み込みも含めると、会議時間の3倍くらいの時間を拘束される審議会である。総合計画という加西市の計画を策定する大事な会議である。その5年間の見直しということで、5年先が読めない時代の中でこの計画を作っていくということだが、過去5年の部分は相当変わってきている部分があると思う。その辺りも検証しながら、次の計画を立てていくという、なかなか難しい会である。事務局のスタッフも総動員で出席しているため、委員と一緒に良い計画を作ることができればと思う。今後ともよろしくお願い申し上げます。 (1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方 —資料1、参考資料(加西市総合計画の概要)に基づき事務局から説明— ➤ 意見なし (2) 実施計画(令和6年度実績)における評価・検証について —資料2、参考資料(加西市総合計画の概要)に基づき事務局から説明— ➤ 意見なし

副会長	(3) 内部評価の概要 —資料3, 参考資料(加西市総合計画の概要)に基づき事務局から説明— ➤ この審議会で計画を作っており、結果的にはそれを毎年検証していくこともこの会議で行う。そのため、毎年度実際に行っている施策をKPIの数値を見ながら評価をしていく。今年度の場合は、さらに後期計画に移るため、その施策自体がいののかいらないのかということも含めて、評価をしていただき、最後の2回の審議会で次の計画に盛り込んでいくという、大変な作業になると思う。本来は112事業を全員が確認し、評価をすることがよいと思うが、さすがに負担が大きすぎるため、それぞれに関連のある3つの部会に分かれて、それぞれで評価をし、その結果を持ち寄って総合評価をするという形となっている。それでも30~40件の評価をしてもらわないといけない。その説明が先ほどあったが、実際はやってみないと分からないため委員の皆様にはよろしく願いたい。
副会長	●部会について(事務局から提案：参考資料p.5) ➤ 提案のあった部会に分かれて議論をしていただくが、もちろん、他の部会部分も読んでご意見があれば言っていただいても問題ない。まずは自分の担当となった部会のところを読んでいただき、その後、全体や興味あるところを見た中で、意見があれば事務局に伝えてもらおうと部会の中で議論されるので、よろしく願いたい。
	(4) 第6次加西市総合計画(後期基本計画)の策定状況について —資料4, 資料5に基づき事務局から説明—
委員	➤ 評価がCなどあまりよくないとなったときの考え方だが、Cの中でも、「やってみた結果、厳しい結果だった」ものと、「取組が甘くてCになった」ものとは意味合いが変わってくると思う。その場合、「やってみた結果、厳しかった」ものはやめるという判断はあり得るのか。この方向転換のようなものは、今回、施策を38から28に減らすということであるため、その翌年以降に減らすということは基本的にはないという考え方になるのか。
事務局	➤ おっしゃる通りCとなった結果の経緯はそれぞれある。しかし、Cだから事業をすぐにやめるということは基本的にはない。市の大きな方針や方針転換により事業をやめることはあり得る。そのため、「やってみた結果、厳しい結果だった」場合は、委員皆さんの知見からやり方の見直し等のご意見をいただき、CをBに上げられるよう今後進めていくことになる。4回目の審議会での報告の際には、内部と外部の両方でC判定となった事業については、改善策について庁内で検討し、その結果を事務局から報告させていただきたいと考えている。
委員	➤ 質問の意図としては、財政に限りがあり、選択と集中を迫られる中で、できるだけ短期で成果を出すためには絞るという選択もあるかと思ったところから質問をしたところである。
副会長	➤ 質問にあったように、我々委員の役割は、市の幹部ではないため事業決定権はない。市の運営に対して外部的な見方をして、順調か否かを評価する。行政はその評価を受けてどう対応するかを考える。委員から言いつばなしでは何をやっているかがわからないため、言ったことに関しては回答をもらいながらブラッシュアップしていくという考え方である。 5 報告 (1) 加西市地域創生戦略の取組状況について —資料6, 資料7に基づき事務局から説明— ➤ 意見なし 6 その他 ➤ 特になし 閉会